

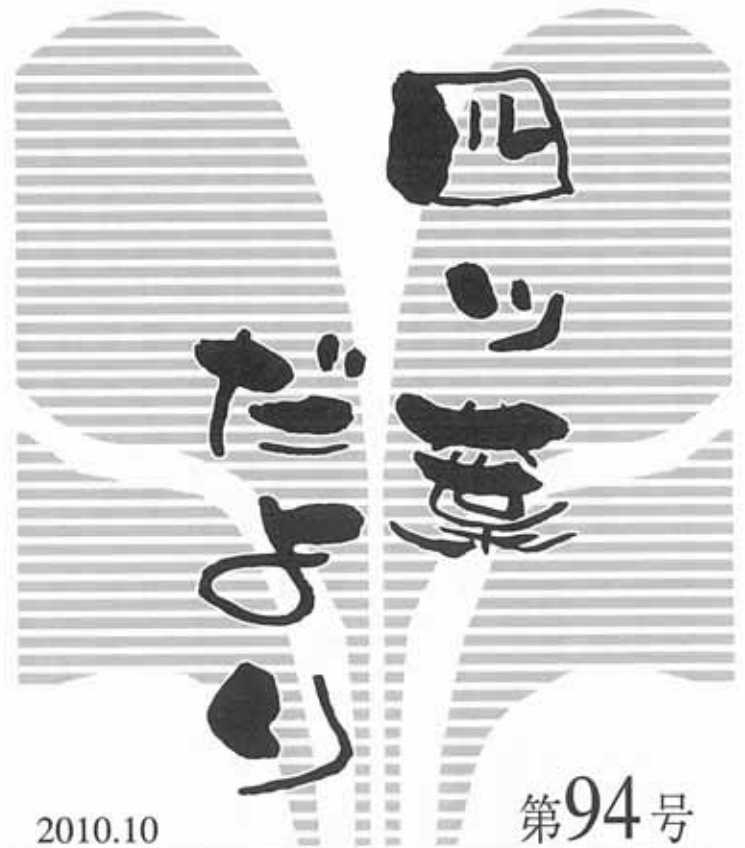
秋たけなわ、皆様方にはますます
ご清栄のこととお慶び申し上げます。
昭和六十年四月、中古志地区に四
ツ葉園を開設して以来二十五年。
その間に障がいのある方の生活や
作業を支援していく形が徐々に整っ
てまいりました。福祉の制度や環境
が大きく変化する中で、多くの方々
に支えられ、根付いてきた二十五年
であったように思います。

ザの流行により、「万が一にも集
団感染の場になってはいけない」
との思いから中止となりましたが、
今年にはぎやかに、楽しく開催し
たいと考えております。

ステージの盛り上がり、四ツ葉
園手作りの「グルメ」の数々を、
堪能していただきたく、利用者・
保護者・職員一丸となって用意し
ております。

どうか、ご家族、ご近所の皆様
方、お誘い合わせの上、ぜひとも
ご来園いただきますよう、心から
お待ちしております。

理事長 青戸 稔



2010.10

第94号

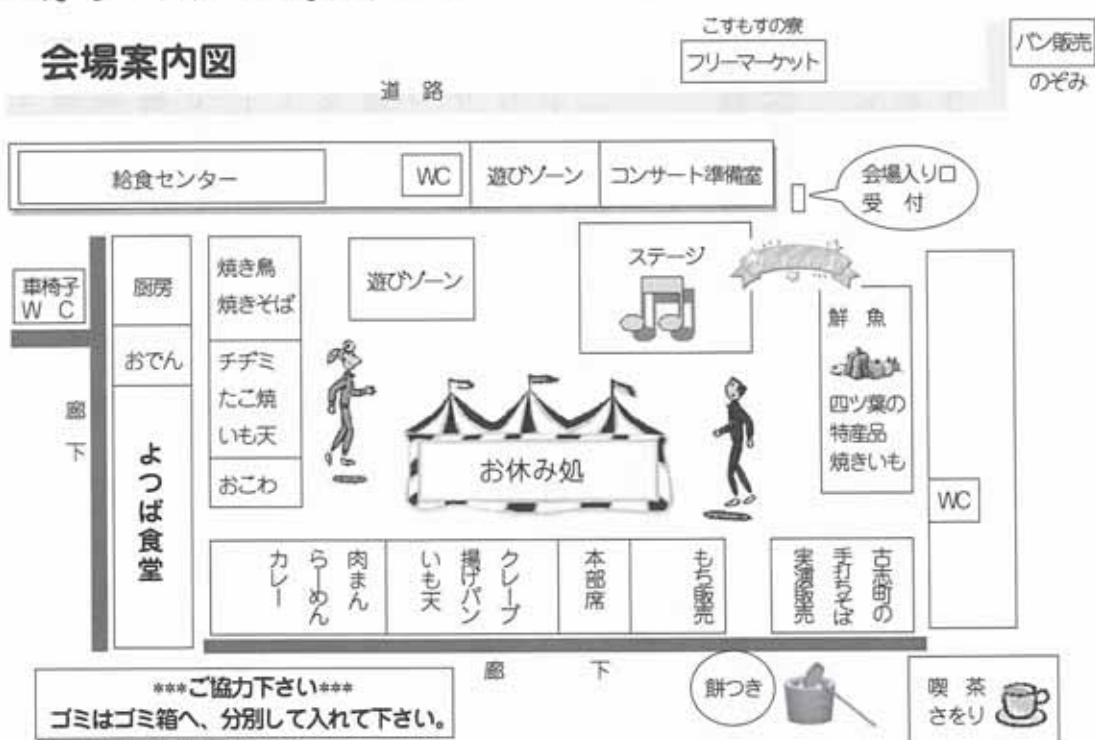


発行所：四ツ葉園広報委員会
松江市古志町1551-4
TEL. (0852)36-8877
FAX. (0852)36-8894
印刷：授産センターよつば

四ツ葉まつり 10月9日(土) 13:00~18:00

~実りの秋に感謝して~ 司会：竹内駒英

会場案内図



※一部変更の可能性がございます

研修報告

救命救急法

七月七日に救命救急法の研修に参加させていただきました。私は五年ほど前にも救急法の研修を受けていたので、手順は覚えていると思っていました。

実際救急法の研修を受け、いざ手順通りにやってみてくださいと言われると、何をしたらいいのか分からなく、順番がバラバラになってしまい、以前出来ていた事も出来なくなっていました。正直職場で意識不明の方が出る事や、大事故が起こることは滅多にないことだと思います。ですがもし、その現場に今私が居合わせたら、人を救う事はできないのだと感じました。その日の研修で実際に何度も救命法の練習をして、一連の流れを覚えましたが、半年後には私は忘れていくかもしれません。そうならないと思えば、私は月に二、三回救急救命法のテキストを読み返す事を心がけています。今回の研修で改めて私の仕事は人の命に関わっているのだと思いつくことが出来ました。今後の為にもこの研修を生かして

行きたいと思えます。

(中西 雄作)

第22回 全国グループホーム・ケアホーム等研修会に参加して

七月八、九日の二日間、千葉県幕張で開催された上記の研修会に参加

いたしました。参加者は一千人を超え、前回までと比べ急増したとのことでした。「障害者自立支援法」のも

と地域生活に関わる事業所も増えており、それに携わる支援者の関心の高さを感ぜられる規模でありました。中でも、自閉症や就労支援に特化した取り組みについての発表が印象的であり、それぞれのセールスポイントともなっていました。グループホーム単体で成り立っているのではなく、他事業所との連携で支援の輪を繋げていくのが重要であると感じました。

また、西宮の事業所からは、震災後のリスク管理に関しての報告がありました。直接の物的被害は小さく食糧物などは手に入る状態であったが、利用者の抗てんかん薬などが不足するという想定外の事態に大変困ったとのこと、生活の中にどれだ

けの危険があるのかの目配り・振り返りなど、普段から心がけて利用者の方々に接することが重要であるとも言われました。

ただ、現実として新たに施設入所する方もあり、地域移行を支えるという点でも入所施設の担う役割はやはり大きいのではないかと、

目まぐるしく変化する政治の中で、今後の障がい者支援施策がどうなっていくのか不透明ではありますが、「いつてらっしゃい」と送り出し、「おかえりなさい」と迎える：基本は変わらず、取り組んでいきたいと思えます。

(たんばは事業所 中倉 里加)

あいサポート企業(団体)認定授与式

去る六月二十五日に鳥取県知事公邸で開催された「あいサポート企業(団体)」認定授与式に出席して参りました。

「あいサポート企業(団体)」とは、平成二十一年十一月に鳥取県で始まった「あいサポート運動」の一環で、「誰もが暮らしやすい地域社会(共生社会)の実現を目指す

し、「あいサポーター」の普及等に積極的に取り組む企業、団体のこと、このたび、当福祉会も賛同・申請させていただき認定された、という事です。

「あいサポーター」に渡される「あいサポートバッジ」のデザインは、鳥取県出身で日本の障がい者福祉に尽力された糸賀一雄氏の残した言葉「この子らを世の光に」から、「光」や「暖かさ」をイメージするものとされています。

この糸賀氏の思想は彼の著「福祉の思想」の一節からうかがうことが出来ます。

「『この子らに世の光を』あててやろうというあわれみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよ磨きをかけて輝かそうというのである。

「この子らを世の光に」である」
 「この子らに世の光を」ではなく、「この子らを世の光に」そして「この子らと世の光に」：私達もまた、この精神を胸に、精進していきたいと考えております。

(四ツ葉園更生部)

施設長 青戸 雄一

しまね高次脳障がい リハビリテーション 講習会

八月二十二日(土)に開催された、しまね高次脳障がいリハビリテーション講習会で授産センターよつばの取り組みを発表させていただきました。「四ツ葉だより」でも何度か報告させていただいておりますが、授産センターでは二年前から高次脳機能障がいに対する支援を行っております。我々の技術や知識、支援内容もまだまだ暗中模索の段階であり、日々試行錯誤しているところです。一方で高次脳機能障がいにおける生活上の不便さは福祉施設でこそサポートしていくことができると思っております。

また、今回の講習会に参加して家族の方々の連携も重要だと深く感じました。高次脳機能障がいに限った事ではありませんが、今後は当事者の方だけでなく家族の方へのサポートや連携を深めて行きたいと思っております。

今回の発表後、様々な方から助言等を頂きました。それらを日常の支援に活かしていきたいと思っております。

(大中 信祐)

行事

四ツ葉園 ガーデンパーティー



初夏の風がそよぐ7月9日、四ツ葉園の中庭に総勢190名が集い、毎年恒例のガーデンパーティーが行われました。

当日、給食センターが準備したメニューは、焼肉、焼き野菜、焼きそばにフライドポテト、サラダにアイスと盛りだくさんなものであり、楽しく食事を終えた後は、来たるべく盆に向けて、利用者・職員入り乱れて盆踊りを踊り、パーティーを盛り上げました。

あっという間に時間が過ぎましたが、雨の気配もない晴天の中で焼肉や、農耕班で収穫した野菜などを炭火で焼いた煙と楽しい音楽が皆を包み、すぐそこまでやって来ている夏に向けて、皆で英気を養いました。

(三好 良知)

7月30日(金) 毎年恒例の「納涼祭」がおこなわれました。

正面の駐車場に会場を設け、今年はアクションとして地域で活躍しておられる2組にお越しいただき、安来節や銭太鼓の唄と踊り、サクスの生演奏を聴きながら、よつば給食センターの豪華なお弁当を美味しくいただきました。梅雨の明けきらない蒸し暑い日ではありましたが、時折吹く涼しい風を感じながらの楽しいひと時となりました。

お忙しい中、多数のご来賓の方々にお越し頂きありがとうございます。

お世話いただきました自治会の皆さま、お疲れ様でした。

(水元 圭子)



授産センターよつば 納涼祭

行事予定(10~12月)

10月	6日(水)	全体集会
	9日(土)	四ッ葉まつり
	15日(金)	工賃支給(授産センターよつば)
	25日(月)	工賃支給
11月	30日(土)	湖北ふれあい感謝祭(授産C)
	10日(水)	全体集会
	15日(月)	工賃支給(授産センターよつば)
	25日(木)	工賃支給
12月	26日(金)	理事会・評議委員会
	10日(金)	全体集会
	15日(水)	工賃支給(授産センターよつば)
	18日(土)	クリスマス会
	24日(金)	工賃支給
	27日(月)	帰省日 もちつき
	28日(火)	仕事納め

♥ 新人職員紹介 ♥

私は、この五月より四ッ葉園更生部で働かせていただいています。佐藤侑子と申します。

この度、結婚を機に広島から島根に引っ越して参りました。知らない土地に引越し不安もありますが、皆様に暖かく迎えていただき感謝しております。また、毎日学ぶ事が多く、新鮮な生活を送らせていただいています。

これから、笑顔を大切に日々精進して参りたいと思っております。至らない点も多々あるとは思

いますが、どうぞよろしくお願い致します。



はじめまして。私は七月から四ッ葉園で働かせていただいています。石川真美子です。

今は、環境生活班で利用者の方々と一緒に働かせてもらっています。福祉の仕事の経験はなく、まだ分からないことばかりですが一日も早く環境に慣れ、一生懸命頑張りたいと思っています。

これから皆様にはお世話になることもたくさんあると思いますが、よろしく願います。

高性能

カラーオンデマンド印刷機の設置

授産センターよつばにおけるカラーオンデマンド印刷機が老朽化したため、財団法人JKA(元日本自転車振興会)の助成を受けて、高性能の「カラーオンデマンドシステム印刷機器」を購入・配備することと致しました。

そして、去る九月八日、青戸理事長の出席のもとに配備セレモニーを実施しました。印刷部門作業棟に、ピカピカのカラー印刷機が、利用者・職員の拍手のもと持ち込まれ、製作会社の職員から使用方法などの説明を受けました。

現在、印刷部門は十一名の利用者の方が携わっておりますが、この機器の導入により、完成品の質を高め、受注の拡大を図ることにより、収益を高め、利用者の方々の工賃向上を図って



く必要があります。財団法人JKAのご支援に感謝致します。

購入金額 一、〇八二万円
うち、助成額 八一一万円



除幕式

編集後記

記録的な猛暑であった今年の夏もようやく過ぎ、涼しくなってきました。しかし、夏の疲れの出る頃でもあります。皆様にもご自愛のほど。十月九日(土)は皆様のお越しをお待ちしております。

※本紙に使用した写真等はご本人・ご家族の了解を頂いています。